

龍ヶ崎市_令和 7 年度「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」推進支援業務

事業者向けワークショップ

時間： 2025 年 11 月 5 日（水） 15：00～16：30

場所： 龍ヶ崎市役所保健福祉棟 3F 多世代交流センター「RINK」コミュニティホール A・B

事務局：スポーツ推進課

ファシリテーター：デロイトトーマツコンサルティング合同会社

参加者：地元事業者・団体の皆様

※ ファシリテーターの進行のもと、参加者様が 3 つのグループに分かれて意見交換

意見交換内容：事業アイデア

■ グループ①

- キッチンカーを展開しているため、野口さんや檜崎さんに実際に食べてもらい、PR してもらうことはありがたい。
 - ◇ 実際に昨年度の AKIYO'S DREAM with RYUGASAKI に出展した際も野口さんも食べに来てくださり、その際子どもたちもたくさん来てくれた。
- 短期イベントでの限定商品制作といった連携は可能である。実際に他の市のイベントでもコラボで限定商品を提供したことがある。一方で、年間通じた商品作りは、卸先の意向もあるため、ハードルが高く実現は難しい。
 - ◇ それは弊社も同様。商品開発は本社の意向が重要で店舗では作ることができない実情もある。
- 店舗スペース等を活用してワークショップを実施したり、インフォメーションボードを活用して事業を告知することは可能である。

■ グループ②

- ローカルの飲食店との関係があるため、それらの店舗へ協力の呼びかけはできる。食べ物自体やパッケージに取組のロゴや標語を焼き付けるなどの連携が現実的だと感じた。
- 店頭で疲労回復の粉末等を販売しているが、そのパッケージなどを変えられる。サウナもあるため、クライミング後に使ってもらう導線が整えられるとよいと感じた。
- 以前子どもたちが RINK 施設内でクッキーを作り、それを RINK で販売したが、完売した。具体的なアイデアはないが、場所は提供できる。
- カラビナは製作可能だが、最低でも 200～300 個の注文がないと実際に制作には動けない。
- チョークの汚れを落とす効能を高めた洗剤は検討可能である。ただ、弊社も一定のロット数の注文が見込めないと商品開発へ動き出すことは難しい。
- 脱臭剤、ハンドクリームは以前 PR したことがある。消費財系は基本的に取り扱い可能である。

■ グループ③

- まず、本事業を通してにぎわいをつくることには前向きである。スポーツには安全管理の面で反対もあると思うが、続いていってくれると嬉しい。
 - ◇ 自身の事業との連携という観点では、必勝を祈願したお守りを始めとした商品の制作が考えられる。
- 龍ヶ崎市はやはり農業が盛んなので、農業×スポーツクライミングの商品・サービスがあるとよいと思った。あとは、市内で民泊事業者が近年増えているため、連携体制を構築できれば、市外からの来訪者の滞在時間を延ばせるだろう。本事業のような、今後の需要拡大が期待できる情報があれば、民泊事業を潜在的に始めたいと思っていた人も立ち上げに向かって動くかもしれない。
 - ◇ 弊社としては、市内の観光事業を盛り上げたく、観光地・神社等様々な場所を周遊してくれると嬉しい。
 - ◇ 一定の場所を周遊した人には景品をプレゼントするような企画も面白い。
- 牛久沼方面にある土地の活用について、地盤の悪さ等の問題はありますが、人が集まる複合施設が作れるとよいかと考えており、スポーツクライミングのウォールもよいのではないかと。
- 本事業との連携可能性については、大会後の温浴利用が考えられる。市内にも温浴施設は複数存在するため、大会時等で連携できるとよい。
- 弊社は RINK の施設管理を行っているが、3 階フロアで普及に資するようなイベント開催は考えられる。また、子どもが遊ぶスペースにも、スポーツクライミングにまつわる遊具や器具があるとよいだろう。
- 親世代に普及していく必要があると考えており、企業対抗クライミング大会の開催は面白いと思う。優勝すれば、会社としても宣伝になる。市で開催しているリレーマラソン大会が参考になるだろう。
 - ◇ 実際にたつのこアリーナのサブアリーナへ観に行ったことがあるが、その時には利用者がおらず、まだまだ寂しい状況だと思っている。施設自体、午前中は高齢者が多いため、大人向けクライミング教室があると普及につながると思った。
- 私自身は、自治体や企業と連携して健康づくりを進めている。他自治体でもスポーツ×まちづくりの事例は取り組んでいるが、教育といかにからめることができるかは、市内の普及に非常に大事だろう。
 - ◇ また、高齢者側の普及も無視できないと考えており、例えば審判の資格取得を市として支援できると、幅広い年齢層に広がっていく事業となるだろう。
- 野口さん等トップ選手による、指導者育成を目的としたチームがあるとよいと感じた。強いクラブチーム・強い選手の存在が一番の普及につながり、移住者増加が期待できるだろう。
- スポーツクライミングが、運動不足にどんな有用性・メリットがあるのか分かった大人にも広がると感じた。「ここまで登ったら何キロカロリー消化」のような情報発信の仕方もあるのではないかと。

意見交換内容：事業開発促進に向けた支援

■ グループ①

- キッチンカーは市外に行くこともある。そこで本事業や龍ヶ崎を PR することはぜひ協力させていたきたい。その際にはロゴ掲出のためのポスターやステッカーなど、プロモーション媒体を支給してもらえるとありがたい。
- 人が集まるイベントを、平日含め複数回開催してほしい。小規模でも市内でイベントが増えることは事業者メリットにつながる。企業対抗戦とか市民の大会を開催するのは面白いのではないかな。個人戦だけでなく団体戦もあると企業も参加しやすくなると思う。

■ グループ②

- 事業の案内やロゴの作成、共有があるとよい。
- パッケージデザインはやってほしい。また、クライミングイベント時の出店の際、当日の販売スタッフとしてサポートがあるとありがたい店舗は多いのではないかなと思う。

■ グループ③

- 金銭的援助も様々なパターンがあると思う。市から助成できる仕組みを作れるとよい。また、国や県などからの補助金の受け取りを目指し、申請書作成を支援することも可能だろう。
- スポーツクライミングの関連商品をいつから作ってよいのか分からない状況である。個人的には、早速作っていききたい。個人的には運氣上昇、技術上昇のお守りが作りたい。なお、来てもらって渡すことは OK だが、EC や出店形式で収益事業化することはできない。
 - ◇ 野口さんが身に着けてくれると一番のプロモーションになるだろう。また、お守りはカラビナに引っ掛けることができれば、落ちないことを祈願できるのでよいと思った。
- やはり、市内事業を担う大人世代以上の体験機会が増えてないと、そもそも市内事業者がスポーツクライミングの魅力や盛り上がりを認知することが難しいだろう。
 - ◇ 個人競技だと思うが、チーム戦のルールが作れると広がりが増えるのではないかな。産業祭で仮設のクライミングウォールを設置するのであれば、今後、出展企業対抗戦を開催してもよいのではないかな。景品でスポーツクライミング関連商品を設ける等の工夫も考えられるが、まずはスポーツクライミングの楽しさを、事業を営む大人世代が体験を通して認識できるとよい。